

TOK をすべての科目に統合するために

2019年10月22日投稿、トピック：[Announcements \(告知\)](#)、[Diploma Programme \(DP\) \(ディプロマプログラム\)](#)、[IB Community Stories \(IB コミュニティーの体験談\)](#)、[IB in Practice \(IB の実践\)](#)、[Inside IB classroom \(IB の教室より\)](#)、[Middle Years Programme \(MYP\) \(中等教育プログラム\)](#)、[Teacher stories \(教師の体験談\)](#)、[Teaching tips \(教師のヒント\)](#)、[Theory of knowledge \(TOK\) \(知の理論\)](#)

投稿者：シュウェタンガ・チャクラバルティ (IB DP コーディネーター、広州南方国際学校、中国) 

[IB ディプロマプログラム \(DP : Diploma Programme\)](#) の教師が直面する最大の課題のひとつが、「知の理論」 (TOK : Theory of Knowledge) をすべての科目に統合する方法を見つけることです。

TOK は DP の全生徒の必須科目で、簡単に説明するならば、生徒が知識について振り返り、「自分たちが知っていることをどのようにして知るのか」という問いへの深いつながりを見つけられるよう促していく科目です。つまり、生徒が既存の理論や実践方法に疑問を投げかけ、学習を解体して意味を構築し、同意する方法や異議を唱える方法を学ぶコースといえます。しかしこれは、そう簡単なことではありません。

批判的思考を奨励するためには、TOK をすべての科目に統合させることが重要ですが、生徒と教師に無理のないやり方でこれを実現するには、どうすればいいのでしょうか。その方法としては、TOK の問いを授業で話し合うこと、他の科目の教師をクラスに招くこと、IB のガイドラインに沿ってコースを進めることなどが考えられます。また、もっと画期的な方法を使って、TOK を親しみやすい科目にすることもできます。私がこれまでに試した方法のうち、効果のあった3つをご紹介します。

1. すべての教室に「TOK ギャラリー」を設け、TOK に対する理解を創造性豊かに表現できるようにする

以前、[タンザニアの Dar es Salaam インターナショナル・アカデミー](#)で教えていた時に、ある TOK のプロジェクトを立ち上げました。高等学校の全生徒に TOK を簡単に説明したうえで、教室に設置する「TOK ギャラリー」のために芸術作品をつくるよう指導しました。また、自分たちを取り巻く世界についての知識をどのように獲得するかを考える、「知るための方法」についても教えました。

今ではすべての教室に「TOK ギャラリー」が設置されていて、「知るための方法」や「自分が知っていることをどのようにして知るのか」についての生徒の解釈が表現されており、これらの作品を基にして、さらに深い議論が行われています。またこれが、複数の学問分野を横断する議論のきっかけにもなりました。



2. 教員会議で TOK のアイデアを共有する

2週間ごとに複数の教師を指名し、自分の授業に TOK を組み込むために使用したさまざまなアプローチを共有してもらいます。これにより、他の教師から学ぶ機会ができ、興味深い議論に発展したり、TOK に対する教師の理解を深めたりする効果がありました。

共有されたアイデアの例として、しっかりと考えなければ答えられないひっかけ問題を出す、などが挙げられます。こうした問題をクラスの冒頭、本論、あるいは「退室チケット」（締めくくり）の質問として使用すれば、批判的・創造的思考を刺激することができます。また、型にはまらない発想を奨励するために、互いの主張に反論したり、オープンエンドの問いに対する反駁を考えたりという活動を行った教師もいました。教師たちからは、TOK のディスカッションを指導する自信がついたという声が聞かれました。

3. CAS と TOK を組み合わせる

生徒は、「創造性・活動・奉仕」（CAS : Creativity, Activity, Service）のプロジェクトでさまざまな場所に出向き、これらのプロジェクトを通じてカリキュラムとのつながりを探ります。新しい文化を体験し、人生経験を深め、新しい芸術の様式について学び、それらを学校に持ち帰ってきます。

私は、これを TOK のプロジェクトの機会として利用しました。校外で学んだ芸術様式に見られるさまざまな「知るための方法」を表現するよう指導したのです。生徒たちは、「落書き」を使って、直感、想像、記憶、信仰、言語、感情、理論、知覚を説明しました。

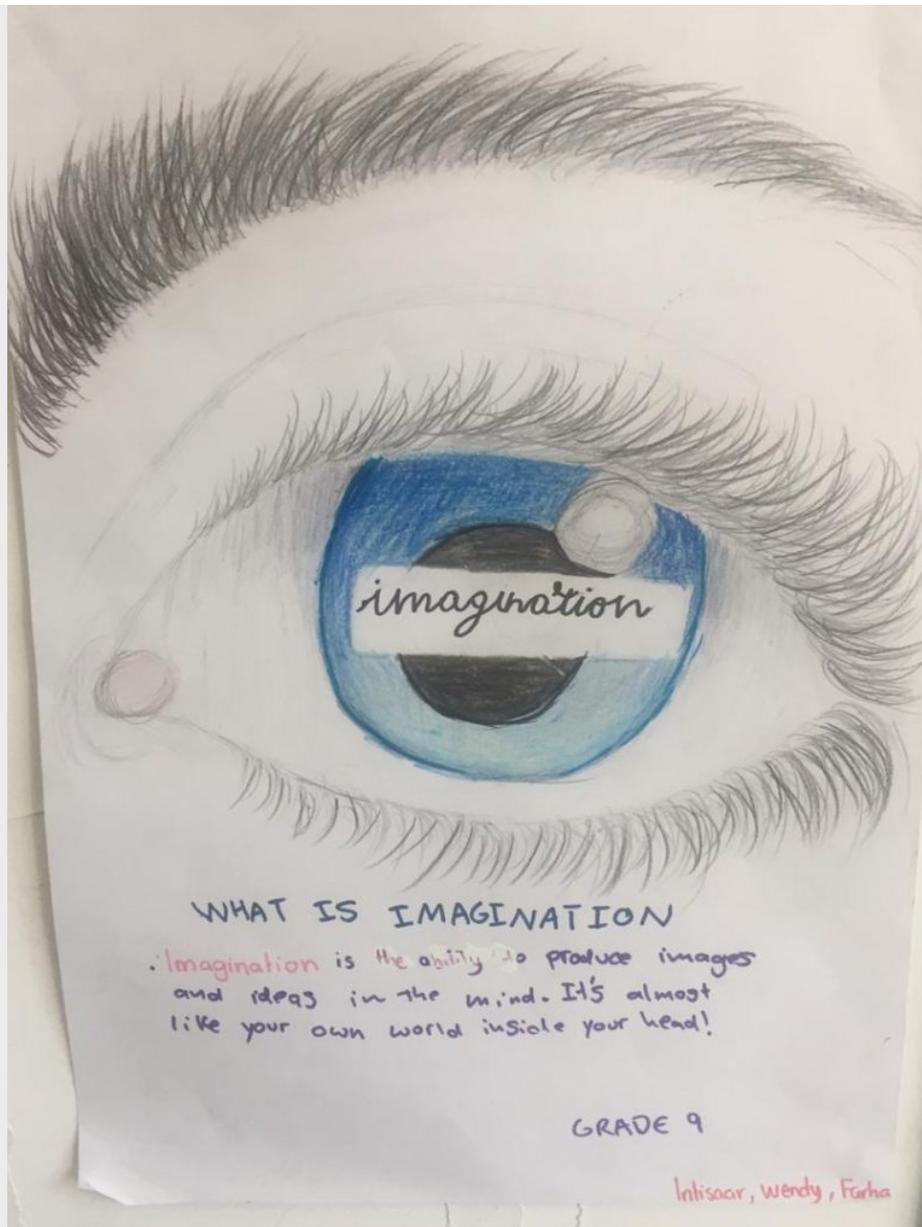
このポスターが今では学校内のあらゆる壁に貼り出されていて、すべての生徒の視覚学習ツールとなっています。また、この試みから、生徒がこの科目をどのように見ているか、知識というものをどのように受け止めているかについての有益な洞察を得ることができました。

DP の枠を越える TOK

以上3つの戦略は、大きな効果を挙げてきました。生徒が TOK や「知るための方法」についての理解を深めるだけでなく、自分の頭で考えることを学び、また自分の意見を表明しながら他の人の意見を尊重することも学びます。

これらの戦略の用途は、DP だけに留まりません。[中等教育プログラム \(MYP : Middle Years Programme\)](#) のグローバルな文脈にも応用することができます。MYP の生徒はこの文脈において、年齢相応の探究を通じて、人類に共通する人間らしさと地球を共に守る責任についての理解を発達させます。

私の学校の MYP コーディネーターは、上記の戦略からヒントを得て、MYP のグローバルな文脈を表現する芸術作品を生徒に作らせ、成果を挙げています。



imagination

WHAT IS IMAGINATION

Imagination is the ability to produce images and ideas in the mind. It's almost like your own world inside your head!

GRADE 9

Intisaar, Wendy, Farha